

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

## <<引き続き予断を許さない生乳需給～新型コロナウイルス感染拡大による生乳需給への影響について～>>

- ・政府が4月16日に緊急事態宣言の対象地域を全都道府県に拡大した以降、全国各地で学校給食の休止や飲食店舗等の休業、会社への出勤自粛等が続いていることから、牛乳乳製品の需要については、学校給食用牛乳で△90%程度、業務用牛乳で△50%程度、生クリーム等向け生乳で△15%程度の減少が続いており、国内の生乳需給は厳しい緩和状況となっている。
- ・こうした厳しい需給状況ながら、関係者の努力によって、4月においては処理不可能乳の発生を回避することが出来たが、5月以降は国内生乳生産が前年同期に比べ約1万トン増加し、半数以上を占める北海道の生産が5月下旬頃にはピークを迎えることから、5月の生乳生産は4月に比べ2万5千トン程度増加するなど、予断を許さない状況にある。
- ・一方、農林水産省の「プラスワンプロジェクト」を始め、各般において積極的な家庭内消費の拡大を促進する取り組みが実施され、ニュースやSNSでも大きく取り上げられたことが奏功し、家庭内消費については、以下に示すとおり直近(4/20週)の動向を踏まえると、さらに好調な状況が続いている。
- ・なお、5/6までの緊急事態宣言がさらに1か月程度延長されることが決定的となっていることから、特に5月の下旬から6月初旬に向けて、一段と厳しい需給状況が予想されるため、処理が不可能な生乳が発生しないように、業界で一致協力した需給調整ならびに消費拡大に対する強力な取り組みを継続してゆくことが重要である。

### 【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年1月～)の動向(表①参照)

・直近(4/20週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同123.4%、成分調整牛乳：同118.0%、加工乳：同107.0%、乳飲料：同118.0%。

牛乳類トータルでは同123.4%と前年を大きく上回って推移している。

・販売単価は、牛乳：190.3円、成分調整牛乳：174.1円、加工乳：183.6円、乳飲料：151.5円。

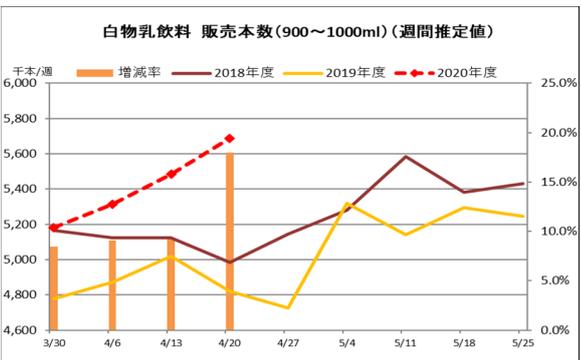
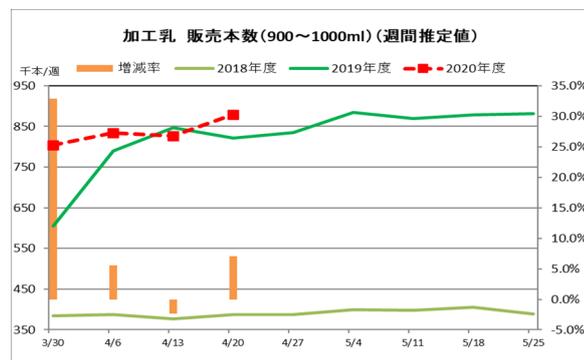
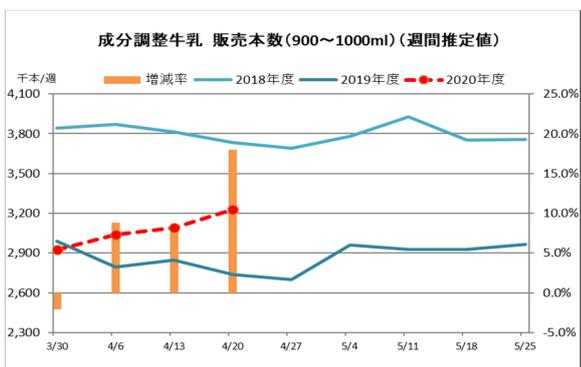
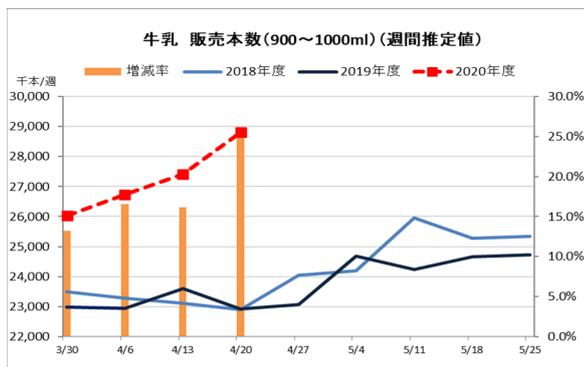
(2)前週(4/13週)より大きく上回ってに推移しており、引き続き、在宅勤務や外出自粛・臨時休校の影響による家庭内需要の増加に加え、関係者による消費拡大の取り組みの効果が一定程度あったと考えられる。

※出典 ㈱インテージSRI週データ、販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

| 品目     | 区分      | 2.3-   | 2.10-  | 2.17-  | 2.24-  | 3.2-   | 3.9-   | 3.16-  | 3.23-  | 3.30-  | 4.6-   | 4.13-  | 4.20-  |
|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        |         | 販売個数   | 30,432 | 31,247 | 30,644 | 33,774 | 32,555 | 33,491 | 32,590 | 34,687 | 34,935 | 35,917 | 36,813 |
| トータル   | 販売個数前年比 | 101.2  | 100.7  | 100.8  | 110.4  | 106.4  | 108.3  | 105.9  | 110.3  | 111.4  | 114.4  | 114.0  | 123.4  |
|        | 販売単価    | 181.5  | 181.4  | 181.8  | 181.4  | 182.0  | 181.9  | 182.0  | 182.3  | 181.9  | 182.5  | 182.7  | 183.0  |
| 牛乳     | 販売個数    | 22,464 | 23,070 | 22,687 | 24,928 | 24,150 | 24,851 | 24,190 | 25,793 | 26,023 | 26,729 | 27,412 | 28,809 |
|        | 販売個数前年比 | 101.9  | 101.3  | 101.7  | 111.0  | 107.8  | 109.6  | 106.9  | 111.5  | 113.2  | 116.5  | 116.2  | 125.8  |
| 成分調整牛乳 | 販売個数    | 2,546  | 2,644  | 2,556  | 2,861  | 2,756  | 2,817  | 2,756  | 2,902  | 2,927  | 3,040  | 3,090  | 3,230  |
|        | 販売個数前年比 | 82.4   | 82.9   | 81.6   | 90.7   | 86.8   | 87.4   | 86.4   | 89.2   | 97.9   | 108.8  | 108.6  | 118.0  |
| 加工乳    | 販売個数    | 716    | 734    | 714    | 796    | 755    | 767    | 741    | 805    | 804    | 834    | 827    | 879    |
|        | 販売個数前年比 | 179.7  | 176.9  | 178.2  | 195.4  | 183.3  | 183.9  | 182.5  | 190.0  | 133.0  | 105.5  | 97.6   | 107.0  |
| 乳飲料    | 販売個数    | 4,708  | 4,800  | 4,688  | 5,190  | 4,894  | 5,056  | 4,904  | 5,187  | 5,182  | 5,313  | 5,485  | 5,686  |
|        | 販売個数前年比 | 103.7  | 103.1  | 102.2  | 113.6  | 106.4  | 109.5  | 107.6  | 111.6  | 108.4  | 109.1  | 109.3  | 118.0  |
|        | 販売単価    | 150.1  | 150.1  | 149.9  | 150.1  | 150.3  | 150.4  | 150.5  | 150.8  | 150.5  | 150.3  | 150.9  | 151.5  |

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年1月～)の動向(表②参照)

直近(4/20週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比110%以上、個食タイプ(70～130ml):同105%以上、大容量タイプ(350～500ml):同125%以上。

(2)機能性ヨーグルトを中心に免疫カアップに対する期待や、外出自粛等の影響と考えられる家庭内需要によって、引き続き堅調に推移している。特に大容量タイプについては前週(4/13週)より大きく伸びているが、ヨーグルトを原料とした乳性飲料であるラシーの飲用推進等、関係者による消費拡大の取り組みの効果も一定程度あったと考えられる。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

| 品目      | 2.10- | 2.17- | 2.24- | 3.2- | 3.9- | 3.16- | 3.23- | 3.30- | 4.6- | 4.13- | 4.20- |
|---------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| ドリンクタイプ | ⇒     | ↗     | ↑     | ↗    | ↑    | ↑     | ↑     | ↑     | ↑    | ↑     | ↑     |
| 個食タイプ   | ↘     | ⇒     | ↗     | ↘    | ⇒    | ⇒     | ⇒     | ↗     | ↗    | ⇒     | ↗     |
| 大容量タイプ  | ↘     | ↘     | ↑     | ⇒    | ↗    | ↗     | ↗     | ↑     | ↑    | ↑     | ↑     |

-  : 前年比90%未満
-  : 前年比90%以上100%未満
-  : 前年比100%以上105%未満
-  : 前年比105%以上110%未満
-  : 前年比110%以上120%未満
-  : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。

《その他参考情報》

・家庭用バターの消費動向について

外出自粛等による家庭内需要の増加やテレビ番組で取り上げられた効果によって、インテージデータでは直近(4/13週)の販売個数前年同期比153.7%と、前週(4/6週)155.0%に引き続き前年を大きく上回って推移している。

・新型コロナウイルス関連情報について(JミルクHPに掲載しております)

(1)新型コロナウイルスの影響による食生活動向緊急調査(速報・概要)

<https://www.j-milk.jp/knowledge/nutrition/h4ogb40000003azz.html#hdg1>

(2)「新型コロナウイルス感染拡大の影響による牛乳・乳製品の供給に関するQ&A」

<https://www.j-milk.jp/knowledge/nutrition/h4ogb40000003azz.html#hdg14>

(3)「免疫力を高める」と題して、牛乳乳製品に関する情報を発信しております

<https://www.j-milk.jp/knowledge/nutrition/h4ogb40000003azz.html#hdg5>

(4)「#私のミルク餅企画」始めました

<https://www.j-milk.jp/knowledge/nutrition/h4ogb40000003azz.html#hdg9>

・日本の牛乳を救う「プラスワンプロジェクト」

農林水産省は、酪農家を支えるため、牛乳やヨーグルトを普段より1本多く消費することを推進する「プラスワンプロジェクト」を4月21日より開始した。

農林水産省HP: [https://www.maff.go.jp/j/chikusan/gyunyu/lin/dairyinfo\\_corona.html](https://www.maff.go.jp/j/chikusan/gyunyu/lin/dairyinfo_corona.html)

メッセージ動画「牛乳乳製品課からのお願い」(外部リンク:YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=NIIPhHst-nU>